

平成23年度 形質転換植物デザイン研究拠点 共同利用・共同研究課題一覧(全34件)

	代表研究者	代表研究者所属	研究課題名
1	吉田 拓司	タキイ種苗株式会社 病虫害研究グループ	アブラナ科作物の低温応答性・開花制御に関する分子 遺伝学的研究
2	園木 和典	弘前大学 農学生命科学部	糖化性の高い植物の分子育種を目指した改良型リグニ ン分解酵素遺伝子の作出
3	市村 和也	香川大学 農学部	トマト青枯病菌と宿主植物の相互作用における植物免疫 調節機構
4	石田 喬志	理化学研究所 植物科学研究センター	シロイヌナズナSUMO E3 ligase SIZ1とHPY2の機能分化 に関する研究
5	鳴坂 義弘	岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所	デュアルR遺伝子システムによる耐病性作物の作出
6	高橋 史憲	理化学研究所 機能開発研究グループ	活性酸素種への応答に関わるタンパク質リン酸化酵素 遺伝子群の解析とストレス耐性植物の作出
7	矢野 健太郎	明治大学	新規・機能未知遺伝子の情報伝達系および発現制御機 構の同定手法の確立
8	後藤 弘爾	岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所	トマト果実形成に関与する転写因子発現制御ネットワ ークの解析
9	山口 信次郎	理化学研究所 植物科学研究センター	マイクロトムの変異誘発系統からストリゴラクトン欠損変 異体の探索
10	渋谷 直人	明治大学	トマトにおけるキチン受容体の機能解析
11	草野 都	理化学研究所 植物科学研究センター	メタボロミクスによる形質転換植物の代謝物変動モニタ リング法
12	藤井 伸治	東北大学 大学院生命科学研究科	ウリ科植物に特有の環境応答機構の解明のための形質 転換系の開発
13	庄司 翼	奈良先端科学技術大学院大学	タバコアルカロイド制御遺伝子ERF/NIC2のトマト相同遺 伝子の機能解析
14	山口 淳二	北海道大学	トマトATL遺伝子によるC/N代謝制御の解明
15	泉井 桂	近畿大学 先端技術総合研究所	C4ミニサイクルのC3植物(トマト)への導入による光合成 能の増強
16	河野 重行	東京大学 大学院新領域創成科学研究科	アオサ藻綱ヒラアオノリのアグロバクテリウムを用いた形 質転換系の開発
17	谷口 亨	森林総合研究所 森林バイオ研究センター	遺伝子組換えポプラを栽培した土壌のモニタリング調査
18	清末 知宏	学習院大学	シロイヌナズナ光周性花芽形成時期制御遺伝子による ジャガイモの塊茎形成制御
19	寺川 輝彦	北興化学工業株式会社 開発研究所	花生殖器官を改変した形質転換シクラメンの生物多様性 影響評価法の確立
20	島田 照久	日本製紙株式会社 アグリ・バイオ研究所	耐乾燥性遺伝子組換えユーカリの特定網室における選 抜評価試験
21	島田 照久	日本製紙株式会社 アグリ・バイオ研究所	耐冷性遺伝子組換えユーカリの隔離ほ場栽培試験
22	高根 健一	株式会社インプランティノベーションズ	第1種使用申請に向けての遺伝子組換えトマトの特定網 室での形質評価に関する研究

	代表研究者	代表研究者所属	研究課題名
23	上野 真義	森林総合研究所	高速シーケンサーを用いたハイスループットな遺伝子型決定手法の確立
24	小沼 明弘	農業環境技術研究所	除草剤抵抗性遺伝子の拡散リスク評価
25	金子 幸雄	宇都宮大学	カラシナ×セイヨウナタネの正逆交雑雑種後代の遺伝子浸透に関する研究
26	高畑 義人	岩手大学 農学部	シミュレーションモデルの構築による導入遺伝子の拡散リスク評価
27	田部井 豊	農業生物資源研究所 遺伝子組換え研究推進室	遺伝子組換えナタネから我が国のカラシナへの遺伝子浸透の実態と生物多様性影響に関する考察
28	大宮 あけみ	農業・食品産業技術総合研究機構 花き研究所	黄花アサガオの再現～江戸期に存在した花きの再現を通じた遺伝子組換え植物の国民的な認知に向けた試み～
29	田部井 豊	農業生物資源研究所遺伝子組換え研究推進室	中高校生によるディベートを通じた遺伝子組換え農作物の理解促進のためのプログラム構築
30	三石 誠司	宮城大学 食産業学部	遺伝子組換え技術の社会受容促進・リテラシー向上方策の検討と実践
31	佐々 義子	NPO法人くらしとバイオプラザ21	メディアガイドラインの策定
32	真山 武志	NPO法人くらしとバイオプラザ21	リスクコミュニケーションを効果的にするための研修とコミュニケーション実践
33	仁田坂 英二	九州大学 大学院理学研究院	転移酵素遺伝子導入による江戸期の変化朝顔誕生の再現を通じた遺伝子組換え技術の国民的理解の促進
34	小泉 望	大阪府立大学	コミュニケーション活動における組換え植物作成のビジュアル化